



intentの特性を活かして不可能を可能に!

intent活用ソリューション

intentの「高速Java実行」「プラットフォーム無依存性」「省メモリ」を活かして実現不可能と考えられていたことを可能にします。

活用事例：P2P on intent

※ P2P：Peer to Peer

- P2Pの多くは、ネットワークと親和性の良いJavaで構築されています。今までのP2PはメモリやCPUパワーのあるPCやPDAを前提としていましたが、intentを使用すれば、小さな制御チップしか持たないホームネットワークやファクトリネットワークなどにP2P技術を適用できます。

機器・ネットワークにP2P技術を適用するメリット

- 機器の追加/機種変更などに柔軟に対応 接続されている機器を自動的に検出。
- 煩雑な機器構成の定義は不要 機器固有の情報は機器側にあるので、各機器の属性定義は不要。
- 機器の連携が可能 関係する機器を自動検出し、機器間のみで連携。
- ベンダ無依存 エージェントのやりとり(※)によりプロトコル無依存にできます。
※ cogma：Cooperative Gadgets for Mobile Appliance

ホームネットワークへの適用

下記のようなことが簡単に実現できます。

1つのリモコンで各社の各種機器の操作を行う

例えば、多くのリモコンの中から探す手間が省けます。就寝時にベッドの中から家中の電源を切ることができます。

- 各種機器のリモコンソフトを機器側からリモコンにダウンロードすることにより、実現します。
- 個々の機器ごとにダウンロードするのではなく、P2Pのエージェント技術によりワンタッチでホームネットワークにつながっているすべての機器の設定ができます。
- 新たな機器を追加した場合も、ワンタッチで操作対象の機器を追加/変更できます。

機器を連携させて快適な生活環境を創る

細かい機器構成の定義をすることなく連携を実現。

- 電話の受話器を取ると、同室内のTVやステレオの音量が下がる。
- ホームシアターを見る時は、自動的に部屋の照度が下がる。
- TVやAV機器などの目ざましの設定に連動して、徐々に部屋が明るくなり、冬場なら部屋の暖房が入る。
→ 目ざましの時刻、各種機器のタイマーを個別に設定する必要はなくなります。

intentを活用すれば、各種機器に搭載されるCPU・OSに依存せず、このような新しいシステムを構築できます。

URL: <http://www.pst.fujitsu.com/>

※ intentはTao Group Ltd.の登録商標です。※ JavaおよびJava関連の商標およびロゴは米国その他の国における米国Sun Microsystems Inc.の商標または登録商標です。
※ 製品名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。※ その他、本資料に記載されているシステム名、製品名などには、必ずしも商標表示を付記していません。
※ 仕様および価格は改良のため予告なく変更することがありますので予めご了承ください。

株式会社富士通プライムソフトテクノロジ

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビルディング
TEL:03-3348-5567 FAX:03-3348-5568
〒461-0004 名古屋市中区栄1丁目16番38号 栄ガーデンビル
TEL:052-937-5614 FAX:052-937-3786
E-mail:sales@pst.fujitsu.com